

ユーザーの多い Google Apps for Business ならば 他社とのコミュニケーションや 情報共有のための基盤をすぐに構築できる！



ランサーズ株式会社

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 3 丁目 10-13 渋谷Rサンク
イビル 7F
<http://www.lancers.jp/>

組織概要

実績とスキルのあるプロフェッショナルと企業を
マッチングする仕事依頼サイト「ランサーズ」を
運営している。2014年2月末までの依頼総額
は約 226 億円、クライアント数約 6 万 5600
社、依頼件数約 28 万 5800 件、登録者数 26
万 9650 人と日本最大級の規模を誇る。同年
2月18日には KDDI と提携し、同社の中小企
業向け業務支援ソリューションを相互活用して中
小企業の事業拡大やコスト削減などの業務支
援を共同で推進していく。

仲間の IT 企業に Google Apps ユーザーが多く好評

2008年12月、日本初のクラウドソーシングサイト「ランサーズ」の運営をスタートさせ、2014年2月末時点での業務依頼総額は約226億円と、同業2位の企業とは3倍以上の差があり圧倒的な実績を誇るランサーズ株式会社。同社は、2012年5月、Google Apps for Business を導入した。

導入の契機となったのは、同年から正社員採用を本格的に始めたこと。当時の従業員数は10名程度で、メール (Becky!) ぐらいしか使っていなかった。しかし、今後急激な増加が見込まれることにより、メールだけでなくカレンダーやドキュメントなどのグループウェアを整備しておく必要性が予測できたのだ。ちなみに、2014年2月末現在で従業員数は約60名と、2年弱で6倍に急増している。

検討したプロダクトは、Google Apps for Business のみ。その理由について、社長室広報チームの潮田沙弥氏は次のように説明する。

「当社は神奈川県鎌倉市で創業し、2013年まで同地に本社を構えていました。鎌倉には、面白法人カヤックさんをはじめ多くの IT 企業が集まり、『カマコンパレー』と称する共同プロジェクトも運営されています。当社もその一員で、仲間の IT 企業に Google Apps ユーザーが多く、評判が良かったのです。当社も Google Apps を導入すれば、社内での利用だけでなく、そういった導入企業との間でコミュニケーションやコラボレーションを行う共通基盤がすぐ構築できることが大きなメリットであると考えました。ですから、ほかのプロダクトは特に検討しませんでしたね」

一般的にコストは最重要級の検討要素であるが、「いいものなら使ってみようというカルチャーがあることもあり、金額は確認程度」であったという。

スピード重視の企業風土に合致

導入後、もっぱら利用しているのは Gmail、Google カレンダー、Google ドライブ。
「Gmail は、Outlook などのメーラーに比べると感覚的に敷居が低い感じがして、スピード重視の当社の風土に合っているように思います」と潮田氏。いちいちホルダー分けせずとも、強力な検索機能ですぐに目的のメールを見つけ出せるところもメール作業をスピードアップできる大きな要因だ。

Google ドライブも、業務効率化に大きな効果をもたらしている。同社では、社内イベントなどのアンケートなどに活用している。

「それまでは、Excel で作成したファイルをメール添付してやりとりしていましたが、Google ドライブならば、アップした1つのファイルにその場で関係者全員に書き込んだり修正したりしてもらえるので、圧倒的にスピードアップできるようになりました。また、アンケートの集計結果を自動的にグラフ化してくれるところも便利です」

社外プロジェクトの情報基盤として活用

潮田氏は、広報の立場として異業種有志によるコミュニティ活動にも積極的にかかわっている。そのプロジェクト活動の対外的な情報発信やメンバー間の情報共有に、Google+ やGoogle ドライブを活用しているという。「Google 製品のユーザーが多く、すでに基盤を共有しているも同然状態なので、すぐに使い始めることができるのです。いろいろな会社のメンバーがこまめにコミュニケーションを取るのに Google+ やハンガアウトは最適ですね。Google ドライブでタイムスケジュールやプログラムなどの資料を共有しながらバーチャルミーティングを行っています。また、対外 PR として動画をアップするなどいろいろ使い方を工夫していますが、自社単独の広報活動にも取り入れて行きたいですね」

同社では、有期雇用の契約社員も多く採用しているが、1アカウントずつ柔軟に増減できる Google Apps for Business のメリットが生かされている。

「例えば、社外とのやり取りが多い広報アシスタントは独自ドメインかつ個別のメールアドレスが必要ですが、ユーザーサポートはそのようなメールアドレスは不要など職種ごとに運用を分けています。Google Apps はそうしたことにも柔軟に対応できるので、当社のように変化の激しい企業には向いていますね」

なお、セキュリティは2段階認証を導入し万全を期している。

今後の活用方針について、潮田氏は次のように言う。

「導入してまだ日が浅いこともあり、Google Apps のせっかくの豊富な機能をぜんぜん活用できていません (笑)。今後はいろいろな活用事例を参考にして、積極的に使いこなしていきたいと思っています」。